

令和4年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市4

船橋市立船橋高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	3教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査(自己表現)	次のア・イのいずれかを、出願時に志願者が選択。 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピールあるいは英語による自己アピール。 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 イ 実技による自己表現 次の種目のうち一つを選択。 ソフトボール・陸上競技(長距離)・陸上競技(短距離) バスケットボール・サッカー・バレーボール・剣道・柔道 体操競技・基礎的運動・吹奏楽管弦楽 実施形態：個人で発表 検査時間：3分
(4) 海外在住状況説明書	実施要項(様式6)により、海外在住期間及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔300点満点〕

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科(各教科100点満点)の合計300点満点で評価する。

(2) 調査書〔175点満点〕アの数値に、イについて加点(上限40点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。
イ 特記事項	3級以上の英語検定について加点する。

(3) 自己表現〔36点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、v(極めて優れている)・s(優れている)・a(良い)・b(標準的である)・c(問題がある)の5段階で評価する。

vを9点、sを7点、aを5点、bを2点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各18点満点)を合計し、得点化する。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現内容	自己の経験や今後の取り組みについて、しっかりと表現できている。
(イ) 意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現内容	基礎的及び専門的な能力を身に付けている。
(イ) 意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」、「学校設定検査(自己表現)の得点」及び「海外在住状況説明書」を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。
